



発信！附特の魅力！

～2年目校長が感じた附特の魅力を伝えます～

大分大学教育学部附属特別支援学校

校長 野田幸代

パート43：韓国ミラル学校で研修交流

11月28日に大分大学教育学部附属特別支援学校の校長と教員4名が、韓国のミラル学校を訪問し、研修交流を行いました。本校はミラル学校と2007年に姉妹校締結を結び、毎年数名ずつの教員が研修交流を行っていましたが、数年間実現できず、4年ぶりの研修交流となりました。



朝の登校指導からミラル学校に入り、午前中は全校集会や幼・小・中・高等部・専攻科の授業を参観しました。



午後からは、生徒が卒業後に就労している事業所や施設を訪問しました。放課後の研修会では、通訳を介して各校の教員2名ずつが発表を行い、協議を深めました。



本校の進路指導の取組



障害者権利条約に基づく日本の現状



↑ 卒業生数名が就労している事業所「レグレンヌ」
ここは、保護者（写真左上）が施設長として立ち上げた事業所で、お菓子等を作っています。



レグレンヌで作っているクッキーとカステラは美味



職業リハビリセンターでは、受注により石鯨や花輪（上）を作っています